

1. 広東省

1. 安全な生産に関する全省テレビ電話会議の開催

●27日午後、上記会議が開催され、胡春華・省党書記が重要な指示を出し、朱小丹・省長が出席するとともに講話を行なった。李春生・副省長、袁宝成・副省長も出席（11月28日付『南方日報』）。

2. 珠江デルタ地域と省東西北部地域のペアリング支援による産業の共同建設に関する業務会議の開催

●28日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議が開催され、五大発展理念を深く貫徹・実行し、産業の共同建設を力強く推進し、省東西北部地域との協調的な発展を促進しなければならないと強調。朱小丹・省長、王栄・省政協主席も出席（11月29日付『南方日報』）。

3. 珠海市が海外各地に経済・貿易代表事務所を設立

●先頃、珠海市政府は「珠海市海外経済・貿易代表事務所建設プラン」を発表した。同市は本年より、ドイツ、米国、香港、マレーシア、ブラジル、韓国等に経済・貿易代表事務所を設立し始めており、欧州、北米、香港・マカオ、ASEAN地域、日本・韓国、南米等の各地域へ広げていく。最初のテスト地域はミュンヘン、ロサンゼルス、香港、クアラルンプール等であり、これらの地域で定着した後、更にイスラエル、アラブ首長国連邦、オーストラリア等にも同事務所を設立し、中東、太平洋地域へと広げていく（11月29日付『南方日報』）。

4. 北京市で大型歴史シンフォニー「私たちの孫文」の開催

●29日晚、広東省の孫文生誕150周年記念イベントのハイライトである上記シンフォニーが北京国家大劇場で盛大に開催され、大きな成功を収めた。李長春・元中央政治局常務委員、羅富和・全国政協副主席、朱維群・全国政協民族・宗教委员会主任、孫懷山・香港・マカオ・台湾華僑委员会主任、吉林・北京市政協主席、王栄・広東省政協主席等が観賞した（11月30日付『南方日報』）。

5. 深圳市で第1回国際森林都市大会が開催

●29日、国家林業局、深圳市政府、全国政協人口・資源・環境委員会主催の上記大会が深圳市で開催された。馬培華・全国政協副主席、朱小丹・省長、江澤慧・全国政協・人口・資源・環境委員会副主任、馬興瑞・深圳市党書記、許勤・深圳市長、彭有冬・国家林業局副局長等が出席（11月30日付『南方日報』）。

6. 藍仏安・副省長が鄧明魁・在中国ベトナム大使一行と会談

●11月30日、藍仏安・副省長が鄧明魁・在中国ベトナム大使一行と会談し、広東省とベトナムは経済・貿易、交通、医療、文化、観光、ハイテク・イノベーション等の分野で双方の強みを補い合いながら、今後より一層密接に連絡し合い、各分野における交流・協力を促進したいと述べた（12月1日付『南方日報』）。

7. 全省知的財産権業務会議等の開催

●12月1日、全省知的財産権業務会議ならびに特許賞表彰大会が開催され、胡春華・省党書記が出席するとともに、第17回中国特許賞・2015年広東特許賞を受賞した組織・個人を表彰した。朱小丹・省長、申長雨・国家知的財産権局長が出席するとともに、講話を行なった（12月2日付『南方日報』）。

8. 国家工商総局商標審査協力広州センター等の設立

●1日、広州市に国家工商総局商標審査協力広州センター、同商標局広州事務所、国家商標・ブランド・イノベーション・起業（広州）拠点が設立され、張茅・国家工商総局長、朱小丹・省長がオープニング・セレモニーに出席し挨拶（12月2日付『南方日報』）。

9. 鄧海光・副省長が天皇誕生レセプションに出席

●1日、鄧海光・副省長は在広州総領事館の招きを受け、天皇誕生レセプションに出席し、次のように述べた。広東省は日本と手を携え、協力分野を拡大し、双方が先進製造業、ハイテク産業、現代サービス業等の分野における協力水準を高め、科学技術、教育、観光、地方友好交流等の分野での実務協力を揺るぎなく発展させ、相互に利益をもたらす、繁栄していく美しい明日を共に作り上げていきたいと述べた（12月2日付『南方日報』）。

10. 香港中華総商会第50回理事会就任式の開催

●2日晚、香港で上記就任式が開催され、朱小丹・省長が祝賀メッセージを送った。董建華・全国政協副主席、梁振英・香港特別行政区長官、林雄・省統一戦線部長、何忠友・副省長等が出席（12月3日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 広州市業務会議の開催

●29日、上記会議が開催され、中央の第4環境保護監督・視察チームによる広東省業務動員会の精神を貫徹・実行し、同チームを迎えるための再動員・再手配を行なった。任学鋒・市党書記が同会議を主宰するとともに、講話を行なった。温国輝・市長が業務を手配。陳建華・市人代常務委員会主任、蘇志佳・市政協主席が出席（11月30日付『広州日報』）。

2. 上海市視察団が広州市を視察

●11月30日、任学鋒・市党書記が、広州市の知的財産権保護、観光産業発展に関する業務を視察に訪れた趙雯・上海市副市長一行と懇談（12月1日付『広州日報』）。

3. “ゾンビ企業”の整理・再建に関する全市業務推進会の開催

●2日午後、市政府が上記推進会を開催した。広州市は11月4日に、「市所属国有企業の“ゾンビ企業”を整理・再建し、国有資産構造の最適化にかかる実施案」を発表し、3年以内に“ゾンビ企業”の整理・再建を実現し、国有企業の組織構造、資産構造、産業構造、製品構造を最適化する計画を提出した。省国有資産監督管理委員会の査定によれば、2015年12月31日時点で、全市の国有“ゾンビ企業”は476社となっている。このうち、すでに生産を停止した企業は361社（全体の76%）、特に困難に陥っている企業は115社（同24%）（）。

III. 深圳市

1. 広東自貿区前海・蛇口エリア、前海深圳・香港協力エリア諮問委員会による2016年度総会の開催

●27日、許勤・市長主宰の上記年度総会が開催され、諮問委員会のメンバーが同エリアにおける深圳・香港の協力、金融、法治、計画等を発展させることをめぐって深く検討し、積極的に提言・献策をした。華建敏・元全人代常務委員会副委員長が出席するとともに、講話を行い、馬興瑞・市党書記が新任の諮問委員に任命書を渡した。招玉芳・省政府党組織メンバー（広東自貿区業務指導チーム副リーダー）が挨拶（11月28日付『深圳特区報』）。

2. 市党第6期第4回全体会議の開催

●25日、市党常務委員会主催の上記会議が開催され、馬興瑞・市党書記が市党常務委員会を代表し、政府活動報告を行い、許勤・市長が市党第11期第8回全体会議の精神を伝達（11月28日付『深圳特区報』）。

3. 深圳・マカオ協力会議の開催

●11月30日、許勤・市長が市政府代表団を率いて、何厚●（金偏に華）・全国政協副主席、崔世安・マカオ特別行政区長官を表敬訪問。マカオ・中国連絡弁公室、在マカオ外交部特派員公署を訪れ、馬興瑞・市党書記の挨拶を伝え、崔長官とともに、年に一度の上記会議に出席。青年による起業インキュベーション、全民による閲読、観光等の協力に関する覚書に署名（12月1日付『深圳特区報』）。

4. 前海管理局、英国カナリー・ワーフ・グループ、北京鑫根投資集団が戦略的提携

●12月1日午前、前海管理局、英国カナリー・ワーフ・グループ、北京鑫根投資集団が戦略的協力枠組み協定に署名し、金融、情報サービス、科学技術サービス等の分野で協力を強化し、グローバル資源を共有することで合意。許勤・市長、張虎・常務副市長、田夫・前海蛇口エリア管理委員会党組書記、艾学峰・副市長、ゲオルグ・ヤコベスクCEOが署名式に出席（12月2日付『深圳特区報』）

5. 第12回中国（深圳）国際先物取引大会の開催

●2日～4日、上記大会が開催され、先物取引企業、証券会社、銀行等から約1,200人余りが来賓や業界有力者と共に中国先物取引発展のチャンスと挑戦について討議した。方星海・中国証券監督管理委員会副主席、劉慶生・市党常務委員が3日に行われたメインのシンポジウムに出席するとともに挨拶を行なった。現在、中国国内の先物取引企業は149社、総投資額は約5,000億元、純資本額は約646億元に達し、先物取引量は7年連続世界1位となっている（12月4日付『深圳特区報』）。